

対象患者 ※令和2年4月1日～10月31日の間に入院受入を行った場合が対象です。

陽性患者

入院受入1人あたり30万円を補助



新型コロナウイルスについて、PCR検査又は抗原検査で陽性と確定した患者で、個室等専用病床での入院を要した患者(自院内での感染を除く)

疑似症患者

入院受入1人あたり20万円を補助



新型コロナウイルスに感染している恐れがあると医師が認めた、感染症の届け出またはHER-SYSへの患者情報の入力を行った患者で、個室等専用病床での入院を要した患者

(ただし、救急搬送または帰国者・接触者外来の受診により市からの依頼を受けた患者、若しくは他の医療機関からの依頼を受けた患者に限る。)

該当するケース

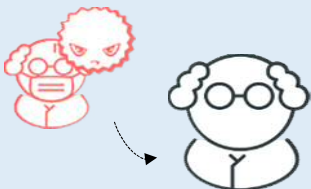
- ▶ 札幌市の救急搬送患者のうち、発熱や呼吸苦等の疑い症状で対応し入院を要した患者
- ▶ 札幌市外からの救急搬送患者のうち、発熱や呼吸苦等の疑い症状で対応し入院を要した患者
- ▶ 帰国者・接触者外来で受診し、入院対応となった患者
- ▶ かかりつけ医等から疑似症として入院を依頼されて受入れた患者

該当しないケース

- ▶ 入院中の患者・もともと入院予定だった患者
- ▶ 自院内での感染の疑いで検査を行った患者
- ▶ 手術前の患者
- ▶ 疑い症例で受診したが“入院”となっていない患者(診療報酬上、入院料を請求していない患者や、夜間に救急搬送され処置室等で安静にしていた患者など)

◎ 下記の患者も、本制度において疑似症患者の扱いとなります

陰性高齢者



新型コロナウイルスについて厚生労働省の定める退院基準を満たした**65歳以上**の患者

(ただし、退院基準を満たした時点での受入に限る)

※ 陽性・陰性合わせて1医療機関あたり2,000万円/月が補助の上限となります。